

週目点

川本 裕子 早稲田大学教授



▶大手銀行が3月期決算 人材の再点検 急務に

みずほフィナンシャルグループなど大手銀行が二〇〇六年三月期決算を発表する。景気拡大を背景に収益は軒並み改善したようだ。すでに三菱UFJフィナンシャル・グループやりそなホールディングスは増復配を発表済み。メガバンクは今期、公的資金を完済すると伝えられる。

しかし、今後の銀行経営は新たな課題も抱える。日銀のゼロ金利解除が視野に入り、金利は上昇局面にある。バブル崩壊後、十五年以上にわたる金利は低下し続けてきた。この結果、融資業務などの最前線に立つ中堅以下の銀行員は金利が上がる環境で営業活動をした経験に乏しい。

銀行の調達金利も貸付金利も、これからはダイナミックに動くだろう。変化する環境では融資先顧客との交渉や、新しい資金運用手段の開拓などチャンスが大きく開けるが、同時にリスクも増す。それがまた不良債権の山につながるという、人材資質の再点検が急務だ。

(C) 日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。